

夏季休暇期間中の防疫対策の徹底を!!

アジアやヨーロッパではアフリカ豚熱 (ASF) が継続的に発生、中国やモンゴルでは口蹄疫の発生が今年も確認されております。

オリンピックの開催により多くの外国人が来日するなど、家畜伝染病の国内への侵入リスクは依然として高い状況です。

改めて、病原体の侵入防止対策の徹底をお願いします。

○海外渡航の自粛

- ・アフリカ豚熱、口蹄疫等の家畜伝染病発生地域への渡航を自粛すること。

○消毒及び衛生管理区域への病原体持込みの防止の再徹底

- ・農場内へ関係者以外の立入禁止、不要な物は持ち込ませない。
- ・農場に持ち込む物品や車両の消毒を徹底する。
- ・畜舎出入口に踏み込み消毒槽を設置して靴底の消毒の徹底をする。
- ・畜舎入場時は手指の消毒を実施する。
- ・農場への野生動物侵入防止対策を徹底する。

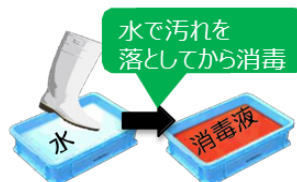
○毎日の健康観察、早期発見・早期届出の徹底

- ・家畜に異常が認められた場合は、すぐに管轄の家畜保健衛生所へ連絡

衛生管理を徹底しましょう！



関係者以外の
農場への立入禁止



農場に出入りする際には、
消毒を実施



農場出入り時の
車両消毒

異常を認めた際は、速やかに家畜保健衛生所へ御連絡ください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826